



▶ Company Profile
会社案内 2026



CONTENTS

Top Message	3
Long-term Vision	5
Materiality & New Medium-term Plan	7
At a Glance	9
Transition	11
Sustainability	13
Human Resource Strategy	15
Markets	17
Products	19
Core Technologies	21
History	23
Global Network	25



TDK Transformation

自らの変革によって、社会の変革を推し進める

TDKは2027年3月期という新たな一年を踏み出しました。今年度は現在進めている中期経営計画の最終年度であり、長期ビジョン「TDK Transformation」の実現に向けた重要な3年目の年となります。前期(2026年3月期)におきましては、急速に進展するデジタルトランスフォーメーション(DX)に加え、グリーントランスフォーメーション(GX)という、社会を根底から変える2つの大きな潮流に対し、当社のコアテクノロジーが価値を提供し続けてきた成果を確かなものにすることができました。社会の要請を的確に捉え、着実に歩みを進めていると確信しております。

一方で、原材料価格の高騰など地政学的リスクは顕在化しつつあり、外部環境はかつてない厳しさに直面しています。こうした不透明な要因に左右されない強固な経営基盤を築くため、私たちは組織としての「自力(Own Capability)」を磨き上げることに注力しています。製品のクオリティ、技術開発力、そして人財の開発といった、自ら高めることのできる「自力」の総和こそがTDKの企業価値そのものです。現状に疑問を持ち、内側から自らの変革を断行することで、新たな顧客価値を創造し、社会課題の解決を推進してまいります。

今後の成長の鍵を握るのは「AIエコシステム」への積極的な貢献です。需要が急増するデータセンター関連をはじめ、次世代モビリティ、スマートグラス、高速通信、ロボティクスといった広範な分野において、高精度なセンシング技術、高出力密度電池、電力効率を極めたデバイス、そしてエッジAIソリューションを展開してまいります。これは、当社が掲げるタグライン「In Everything, Better」を体現する挑戦です。私たちの革新的な技術が、あらゆる製品やシステムの内側に入り込み、それらの価値を一段と高めていく。この「内側からの進化」を通じて、よりスマートで豊かな社会の実現に貢献していきます。

TDKは1935年の創業以来、「創造によって文化、産業に貢献する」ことを社是として歩んできました。現在、世界に10万人を超える多様な人財が、一つのチーム「TDK United」として結集しています。不確実な時代こそベンチャースピリットを発揮し、内側からの変革によって、皆様とともに新たな未来を切り拓いてまいります。

社長執行役員CEO

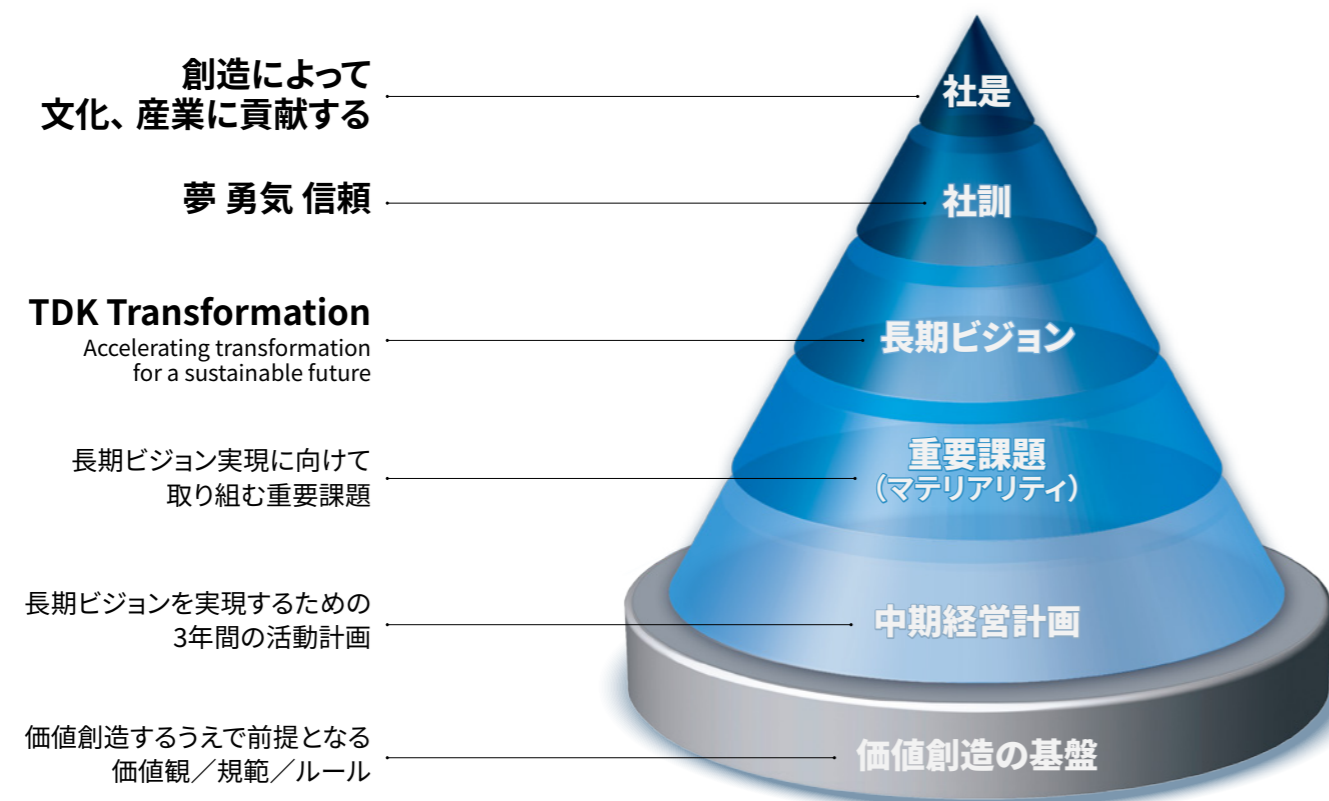
齋藤 昇

これからも価値を創造し続けていくために。 長期ビジョン「TDK Transformation」

TDKは2024年5月、社は「創造によって文化、産業に貢献する」と社訓「夢 勇気 信頼」をもとに、新たに長期ビジョン、重要課題(マテリアリティ)、中期経営計画を策定しました。

TDK Value Structure

TDKは2025年に創業90年を迎えました。創業当初より、社は「創造によって文化、産業に貢献する」と社訓「夢 勇気 信頼」を大切に、社会のニーズを敏感に察知しながら事業ポートフォリオを入れ替え、売上高約2兆円、チームメンバー(従業員)約10万人というグローバル企業へと成長しました。TDK Value Structureは決して変わらない社は・社訓を頂点に、TDKがこれからも価値創造を続けていくために重要な事柄を体系化したものです。



長期ビジョン「TDK Transformation」とは

今後10年後のありたい姿として、長期ビジョン「TDK Transformation」を策定しました。この長期ビジョンには、社会のTransformation(変革)への貢献と、TDK自身が変革し続けていくという2つの意味があります。この2つのサイクルを加速させ、サステナブルな未来の実現に貢献するという想いを込めています。

TDK Transformation

Accelerating transformation for a sustainable future

TDKはこれまでオーディオ、ビデオ、パソコン、スマートフォンなど各時代の産業をけん引するアプリケーションに欠かせない製品を提供してきました。今後も、脱炭素や省エネ、蓄電などのGreen Transformation、AIや自動化・省人化などのDigital Transformationをはじめとするさまざまな領域で、高付加価値な電子デバイスの提供を通じて、社会のTransformationに貢献し続けていきます。



多様な人財による変革力を基盤に、未来構想力と実行力との両輪により、将来の投資余力を確保し、最適な投資を実行することで、経営の変革力を高めていきます。また、マーケットのニーズをいち早く捉え、独自の材料からシステムまで幅広いソリューションを提供するサイクルをより一層進化させ、ポジションのさらなる向上を実現します。

社 是

創造によって 文化、産業に貢献する

社 訓

夢

常に夢をもって前進しよう。
夢のないところに、創造と建設は生まれない。

勇氣

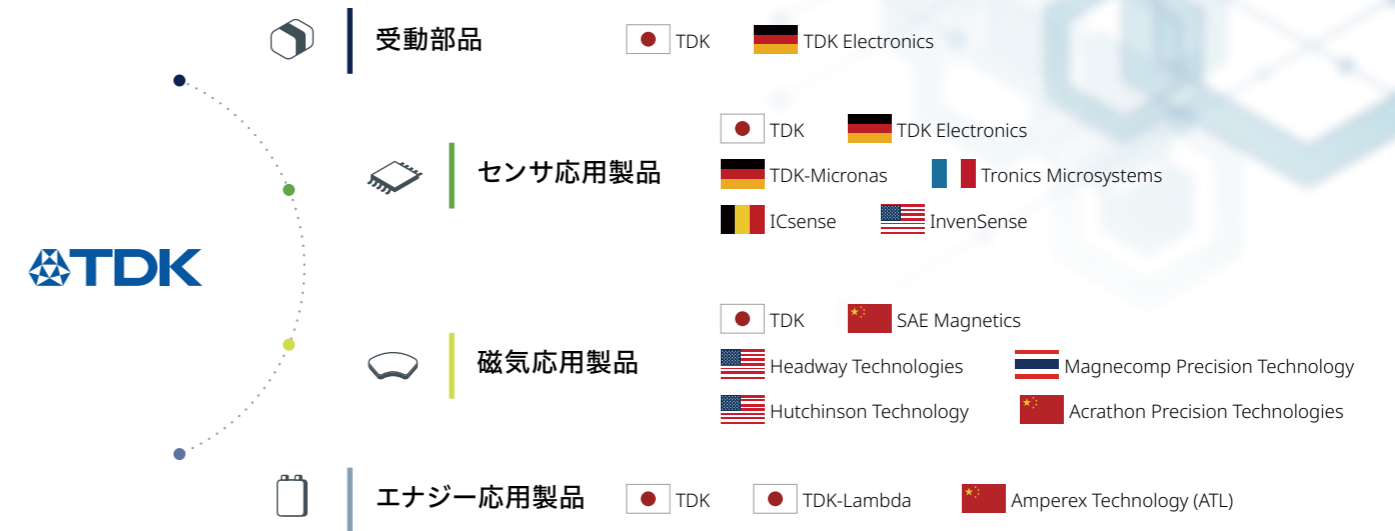
常に勇氣をもって実行しよう。
実行力は矛盾と対決し、それを克服するところから生まれる。

信頼

常に信頼を得るように心掛けよう。
信頼は誠実と奉仕の精神から生まれる。



主なビジネスとグループ会社



国旗はTDKグループ各社の本社所在地を示しています。

会社概要

(2026年3月期)

登記上の会社名： TDK株式会社

本社： 〒103-6128 東京都中央区日本橋二丁目5番1号

設立： 1935年12月7日

上場証券取引所： 東京証券取引所(6762)

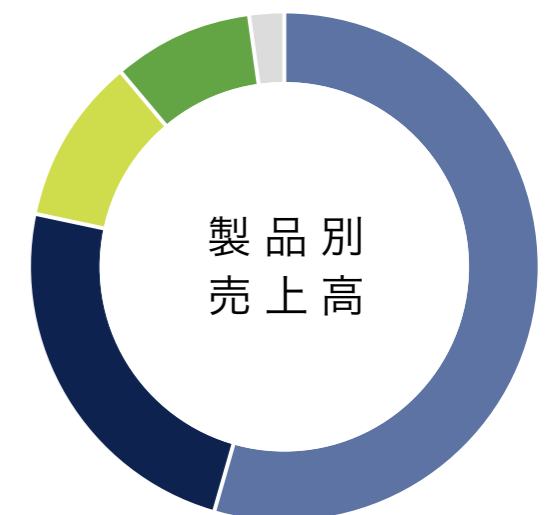
連結売上高： 2兆5,048億円

親会社の所有者に帰属する

当期利益： 1,957億円 [IFRS]

連結従業員数： 106,545人

エネルギー応用製品	54.7%	1兆3,703億円
受動部品	23.7%	5,932億円
磁気応用製品	10.5%	2,629億円
センサ応用製品	9.0%	2,246億円
その他	2.1%	538億円



事業の変遷

TDKは、フェライトから始まった電子材料技術を進化させ、事業ポートフォリオを変えながら成長してきました。社会のニーズに応える製品を提供すべく、フェライト起源の材料技術やプロセス技術などのコアテクノロジーを応用した技術革新を進めるとともに、時代の変化を見据えて主力事業のポートフォリオ転換にも積極的に取り組んできています。

AIの高性能化



- 変えてきたこと**
- 製品・事業ポートフォリオ
 - 世界展開・世界シェア
 - フェライトツリーの広がり
 - 経営のダイバーシティ
 - ガバナンス体制
 - Quality First

- 変えないこと**
- 独自の企業文化
 - ・ 創業の精神
 - ・ 自由な企業風土
 - ・ ベンチャースピリット
 - 人財重視の経営
 - 材料×プロセス技術

自動車の電装化の加速



クラウドコンピューティングの普及

スマートフォンの普及と継続的高性能化



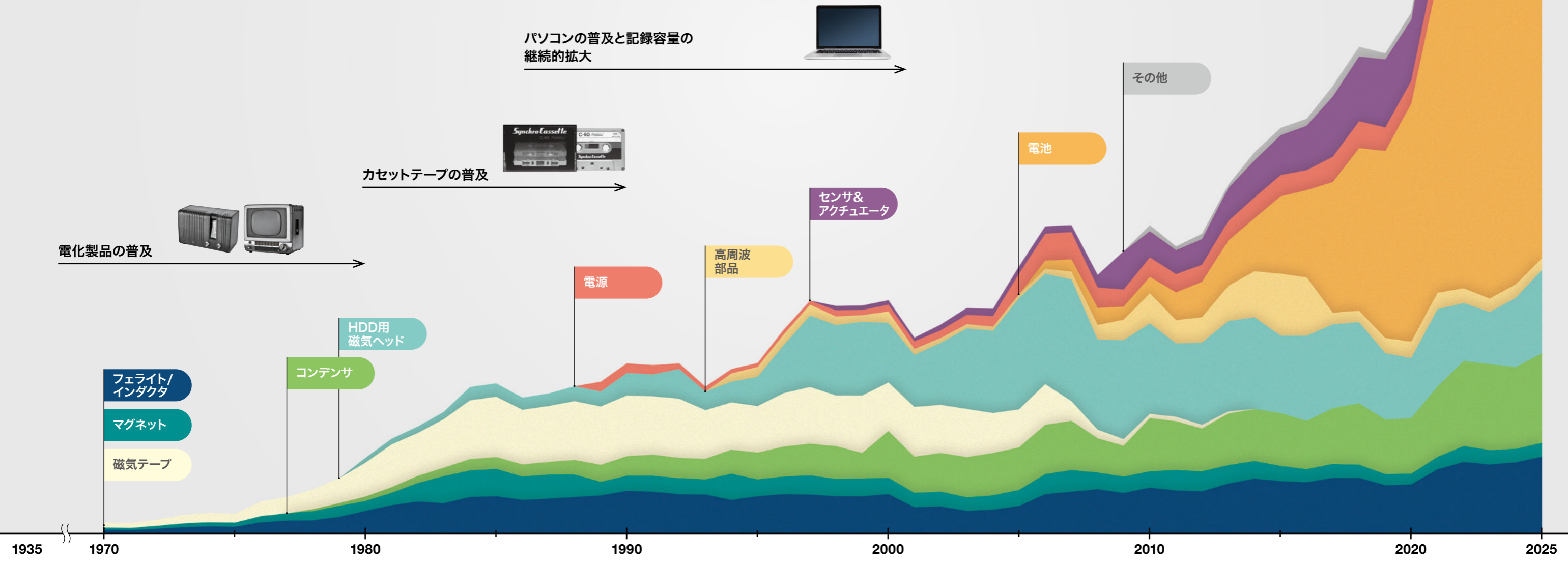
パソコンの普及と記録容量の継続的拡大



カセットテープの普及



電化製品の普及



1935 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2025

サステナブルな未来の実現に向けて

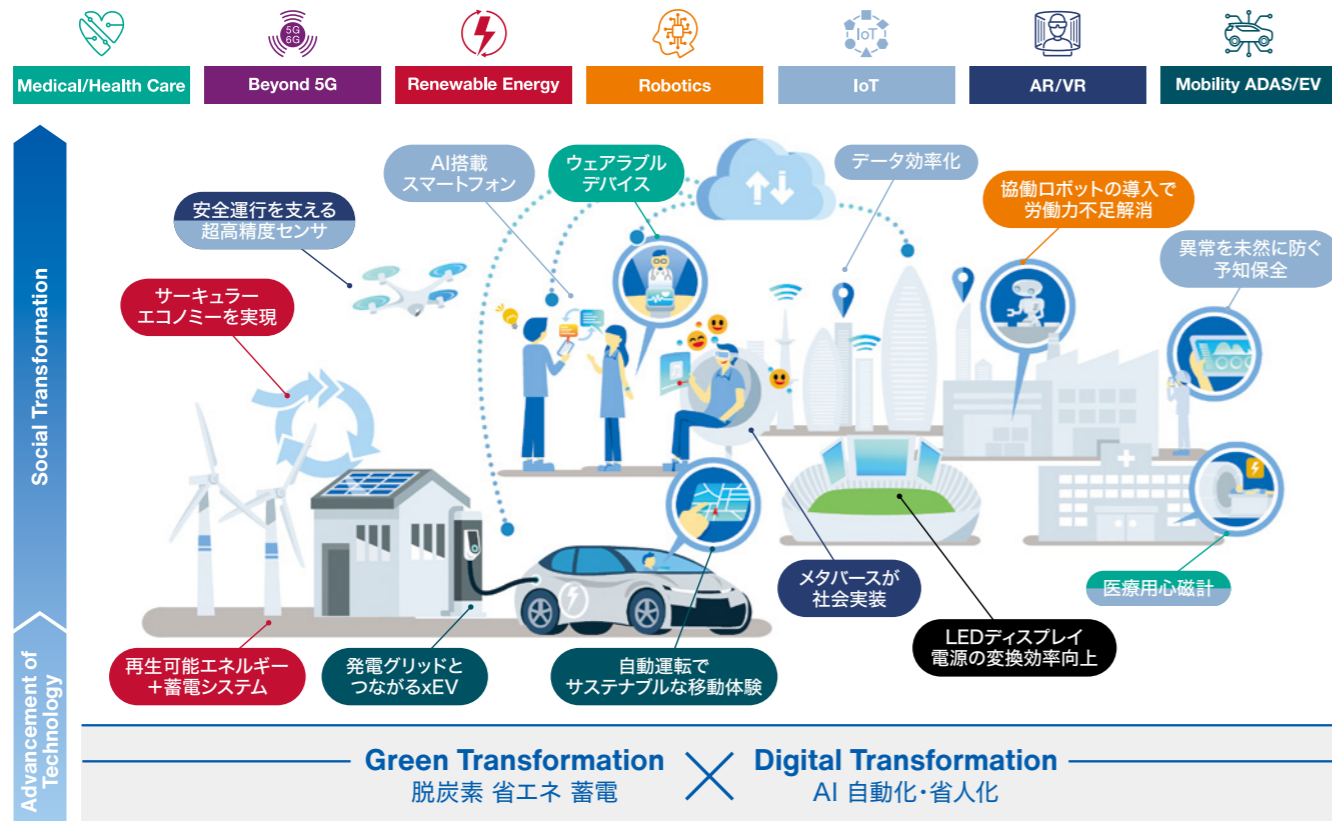
TDKは、独自の材料・プロセス・ソフトウェアを組み合わせた電子デバイスで、テクノロジーの進化と社会の変革を加速し、サステナブルな未来の実現に貢献することを長期ビジョン「TDK Transformation」に掲げています。また、人権の尊重や気候変動への取り組みといった社会・環境課題解決の遂行を重要課題(マテリアリティ)の一つに設定し、企業成長とサステナブルな未来の実現への貢献の両立を目指しています。

詳細な情報は「サステナビリティレポート」をご覧ください。
<https://www.tdk.com/ja/sustainability/index.html>



社会のTransformationに向けた取り組み

TDKでは、脱炭素、省エネ、蓄電に関する Green Transformationに加え、AIによる自動化や省人化に関する Digital Transformationなどを推し進めることで、TDKの電子デバイスが貢献できる領域は今後も拡大し続けていくと考えています。



再生可能エネルギー普及の促進に貢献するTDK製品

TDKは、再生可能エネルギーを効率的に利用するスマートグリッド*において、重要な役割を果たす電源製品「双方向DC-DCコンバータ」を提供しています。高効率な電力変換技術によって、1台で蓄電池への充電と放電を可能にします。これにより、脱炭素社会の実現の鍵となる再生可能エネルギーのさらなる普及に貢献します。

*スマートグリッド:通信技術によって電力の需給を最適化する電力供給システム。次世代電力網とも呼ばれ、太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの普及を促進する技術として注目されている。



TDKラムダ 絶縁型双方向DC-DCコンバータ「EZAシリーズ」

使用電力を100%再生可能エネルギー由来へ

TDKは2050年CO₂ネットゼロ社会の実現に向け、国内外の全事業所で使用する電力を2025年までに50%、2050年までに100%再生可能エネルギー由来にするという目標を掲げ、さまざまな施策を推進しています。

目標達成に向けた取り組みの一環として、製造拠点での太陽光パネルや風力発電の設置など、再生可能エネルギーの導入を進めています。また、2022年11月には「RE100」*に加盟するなど、再生可能エネルギーの利用拡大に取り組んでいます。

日本では、2023年7月に国内の全製造拠点で使用する電力の100%を再生可能エネルギー由来に転換しました。欧州に生産拠点を多く持つTDK Electronics (TEG) では、2030年までにCO₂排出量をゼロにするという地域の個別目標を掲げて施策を実施。TEG内部および専属契約する太陽光発電所から得られる発電量を、2019年から2022年までの3年間で10倍に増加させることに成功しています。また、TDK Philippinesでは、使用電力の100%を地熱発電、TDK Foil Icelandでは約70%を水力発電、残りの約30%は地熱発電を利用するなど、地域の特性に合わせた再生可能エネルギー導入を進めています。

これらの活動により、2024年3月時点で、全世界で使用する電力の50%を2025年までに再生可能エネルギー由来にするという目標を前倒しで達成しました。TDKはこれからも、2050年CO₂ネットゼロ社会を実現するために、再生可能エネルギーへの移行をグループ全体で推進していきます。

* RE100:国際的な環境NGOである「Climate Group」と「CDP」のパートナーシップのもと運営する国際的なイニシアティブ。事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする企業で構成される。



TDK Philippines Corporation ラグナ工場(フィリピン)

TDK株式会社 浅間テクノ工場(長野県)

TDK-Lambda UK Ltd. イルフラクーム工場(イギリス)

人権リスクの予防・低減に向けた取り組み

2020年に、TDKは、グローバルサプライチェーンにおける社会、環境、倫理面の改善に取り組むRBA (Responsible Business Alliance: 責任ある企業同盟) に加盟しました。TDKでは、RBA行動規範をCSR活動を推進するための基準として活用し、RBA行動規範に示されたルールの遵守に努めています。主要な人権課題に対する予防・低減の取り組みについても、RBAの行動規範やチェック項目、監査の仕組みなどを活用しながら活動を推進しています。



Responsible Business Alliance
Affiliate Member

TDK Transformationを加速する 多様な人財の活躍推進と育成

TDKは、世界30以上の国と地域において250を超える拠点を展開し、チームメンバー（従業員）は10万人以上に達しています。また、その90%近くが日本以外で勤務しています。長期ビジョン「TDK Transformation」を加速するには、世界中のチームメンバー一人ひとりの活躍と成長が欠かせません。そのために、TDKではグローバルでの人財開発体制を構築するとともに、ダイバーシティの推進やチームメンバーの健康とエンゲージメントの向上に取り組んでいます。

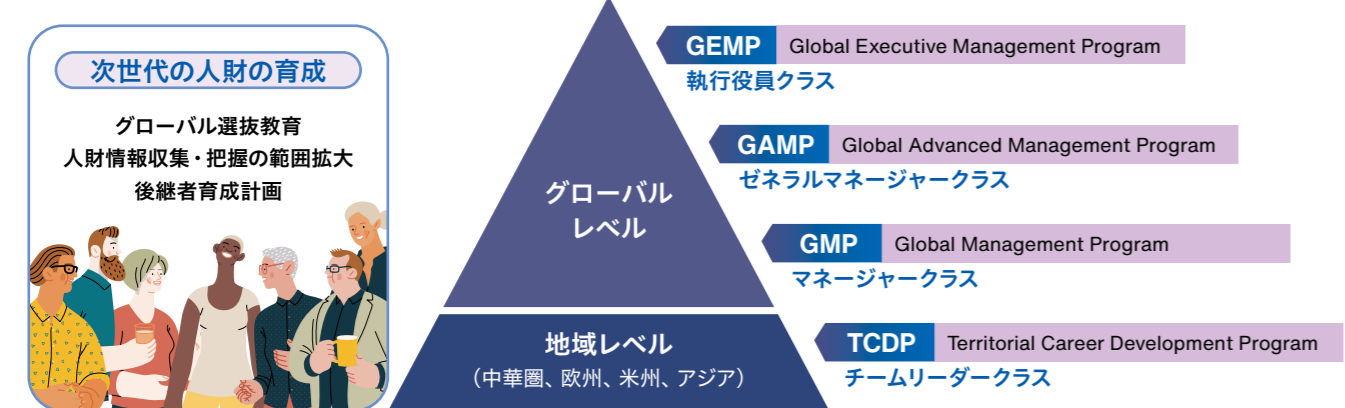
次世代リーダー候補者のグローバル育成プログラムを実施

「TDK Transformation」を推進するために、次世代のTDKを牽引する後継者の育成は不可欠です。TDKでは、将来の経営者や幹部候補の育成とグループ会社を越えたネットワークの構築を目的とし、「Global Management Development Program」を全世界横断で行っています。国内外から多種多様なバックグラウンドを持つマネジメント層および将来のリーダー候補が一堂に会するプログラムを通じて、普段の

仕事では交わることのない人財の横の交流が生まれています。このようなグローバルなプログラムを実施し、「TDK United」を強化することで、優秀な人財の育成を加速させると同時に、国籍を問わず適所適材での登用を加速させます。

* TDK United：「個人や個社の力を伸ばしながらお互いの理解を促し、チームワークで価値を創出する個性あふれる融合体」というTDKが目指す組織文化

Global Management Development Program



スイスで行われたGAMPプログラムの参加者たち

教育・育成方法をグローバルで一元化

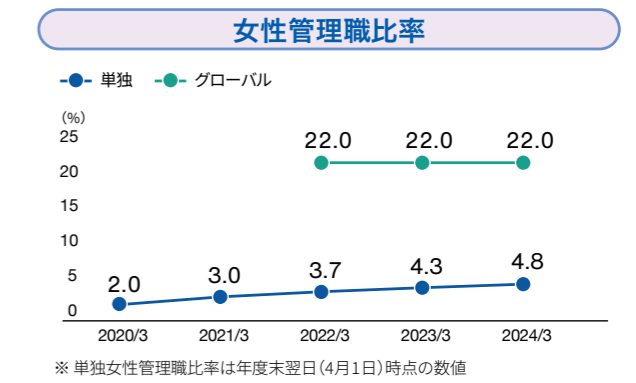
グループ会社間でのグローバルな協業に欠かせない、英語を中心としたコミュニケーションスキルの上達を目的に、全世界のチームメンバーを対象にした語学学習プログラムを実施しています。また、ITスキルやマネジメントまで、約40,000コースのデジタル教材をオンラインで学習できるプラットフォーム「Weconnect」を導入。自身のキャリアに合わせて、学びたいことをいつでも学べる環境を整備し、チームメンバーのスキル向上をサポートしています。



ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I) の推進

TDKがさらなるイノベーションと価値創造を続けていくためには、チームメンバーが性別や年齢、学歴、専門性、国籍などに関係なく互いを尊重し、自由に意見を交わせる風土が不可欠です。TDKは2020年にDE&I推進活動を本格的に開始しました。まずTDK株式会社(日本)を対象として、2035年度の女性管理職比率15%を目標に女性社員の意識変革に注力したキャリア開発セミナーやメンタリングなどを実施。2024年4月時点でのTDK(株)の女性管理職比率は4.8%となり、過去4年間で倍増しました。そして、2023年にグローバルDE&Iチームを設立し、TDK全体でのDE&I推進活動方針の制定やグローバル全体の実態調査、国際女性デーでの活動などを通じてグローバルでの連携と活動を強化しています。さらに、LGBTQ+への理解を促進し、環境を整備する活動も開始し、2023年度にはTDK(株)の執行役員と管理職約90人が勉強会に参加しました。

*LGBTQ+：「Lesbian(レズビアン)」「Gay(ゲイ)」「Bisexual(バイセクシュアル)」「Transgender(トランスジェンダー)」「Queer(クイア)」,その他の性自認や性的思考を持つ人々の総称



詳細な情報はTDK「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」ページをご覧ください。
<https://www.tdk.com/ja/sustainability/social/diversity-inclusion>



さらなる成長を目指し、チームメンバーの健康とエンゲージメントの向上に取り組む

TDKでは、チームメンバー全員で「クオリティ」の向上に取り組んでいます。クオリティとは製品のみならず、安全、働き方、法令遵守などすべてにおいてのクオリティです。クオリティ向上への取り組みが、一人ひとりの成長につながり、その生み出す価値の合計が会社の価値になると考えています。そして、すべてのクオリティの向上は「人」=チームメンバーによってのみ実現可能であり、その前提として、チームメンバー一人ひとりの心身のクオリティは最も重要な経営課題のひとつと認識しています。

「TDK United」の多様なチームメンバーとその家族が心身ともにいきいきと健康や生活のクオリティを高めることをより具体的にサポートしていくために、TDKは2024年4月に「TDK健康宣言」を制定、同年6月に、「健康経営アライアンス」へ参画しました。チームメンバーが心身ともに健康に働き続けることができるよう健康推進活動に取り組んでいます。

*** 健康経営アライアンス：「社員の健康を通じた日本企業の活性化と健保の持続可能性の実現」というビジョンに共感する148の企業・団体が(2024年6月30日時点)が活動する組織。

健康のQuality

一人ひとりの心身のクオリティは、最も重要な経営課題のひとつと認識しています。

- TDK 健康宣言を制定
- 健康経営アライアンスへの参画

職場環境のQuality

働き方、働きがい向上のための環境改善を推進しています。

- 官民連携での街づくりなどによる働きがいのデザイン
- 働きやすい労働環境の整備

TDKが注力する重点3市場

TDKは、将来に向けて大きな成長が見込まれる自動車、ICT、産業機器・エネルギーの3市場を重点市場と位置づけています。各種製品の提供を通じて3市場のさらなる拡大に貢献しているほか、ますます高度化する市場ニーズに応じていくため、スピード感をもって設備投資や研究開発、M&Aなどの成長投資を行っています。

Automotive

カーライフの未来を拓く総合技術力

世界的なxEV（電動車）へのシフトやADAS（先進運転支援システム）の高度化などにもともない、自動車に搭載される電子部品数は急増しています。

TDKは、独自の技術で自動車の環境負荷低減、安全性と運転/乗車体験の向上を支えています。幅広い用途に使用される高信頼性受動部品に加え、駆動モータ用ネオジウムマグネットやDC-DCコンバータ、制御用温度・圧力センサ、電流センサで燃費・電費の改善に貢献。また、小型・高感度の磁気センサであるTMRセンサや、MEMS（微小電子機械システム）技術を活用したモーションセンサ、高周波部品はADASの進化、ソフトウェア定義型自動車（Software-Defined Vehicle、SDV）への移行を支え、自動車の安全で快適な走行をサポートしています。



ICT



ネットワーク社会のさらなる進化をサポート

高速大容量の5G通信やIoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）などの技術により、あらゆるものがつながるネットワーク社会“Society5.0”が本格化しています。スマートフォンやウェアラブル機器、通信インフラなど、先進的な各種電子機器の進化を支えているのは、膨大な種類と数の電子部品やデバイスです。

TDKは、独自のコアテクノロジーによって開発・製造したインダクティブ部品、回路保護素子、ノイズ対策部品など、多種多様な電子部品を通じてICT社会のさらなる発展を支援しています。また、データセンター向け大容量サーバのHDDにはTDKの磁気ヘッドが多用されているほか、AR/VRを含めたモバイル機器向け各種センサ、5G通信基地局向けアンテナや高周波部品、ハブティクス向け圧電材料部品など、ICT社会の至るところでTDK製品が活躍しています。



Industrial & Energy



明日のEX（エネルギートランスフォーメーション）に向けて

風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用やEXIは、SDGs（持続可能な開発目標）や脱炭素社会の実現に向けた技術トレンドです。

TDKは、風力発電機用の大型ネオジウムマグネット、変電・送電システム用のコンデンサ、避雷器用保護素子など、さまざまな製品を介してエネルギーインフラの構築に貢献しています。また、TDKはコンシューマ機器、産業機器、医療機器などで使われるAC-DCスイッチング電源、DC-DCコンバータなど、各種電源製品を提供している電源メーカーでもあります。さらにスマートフォンなどのモバイル機器や家庭用蓄電池に使用されているリチウムイオン電池については主要メーカーに採用されています。今後は、電動二輪車などに向けた中容量タイプ電池も拡販していきます。



多様なニーズにお応えする豊富な製品ラインアップ

製品画像は一部のみを掲載しています。製品の
詳細は「プロダクトセンター」で検索ください。

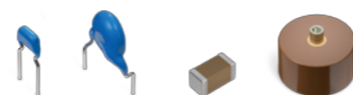


製品群のロゴマークはプロダクトブランドです。

受動部品

セラミックコンデンサ

身の回りのあらゆる電子機器でノイズ低減や信号処理用などに使用される電子部品。最も多く使用されている積層セラミックチップコンデンサ (MLCC) は自動車1台あたり数千個が使用されています。また、EVへの搭載数はガソリン車の約2倍の1台あたり8千個程度になるとされ、需要の急増が見込まれています。TDKは、高温/高耐圧や高信頼性などさまざまな特長のMLCCを提供しています。



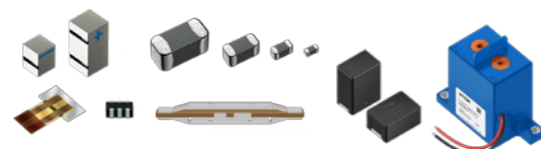
インダクティブデバイス

巻線、積層、薄膜などの工法を用いてインダクタ、EMC対策部品、トランスなどをラインアップ。自動車の省エネルギー化、車載通信の高信頼性、スマートフォンの通信品質の向上、バッテリーの長寿命化に貢献しています。



圧電材料部品・回路保護部品

ピエゾ (圧電) アクチュエータなどの圧電材料応用製品や、バリスタ、アレスタなどの回路保護部品は、車載、産業機器、家庭用電化製品だけでなく、スマートフォン、タブレット、ウェアラブルにも不可欠となっています。



センサ応用製品

センサ

温度センサ、圧力センサに加え、磁気センサ素子であるTMRやホールによる角度センサ・電流センサなど、さまざまな電子デバイス製品や自動車・産業用アプリケーションに不可欠な各種センサをラインアップ。また、加速度センサやジャイロセンサなどのMEMSモーションセンサ、さらにICTおよび産業用アプリケーションに役立つ超音波ToF (Time-of-Flight) センサも提供しています。



磁気応用製品

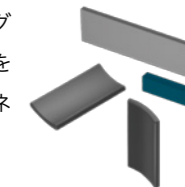
HDD 用磁気ヘッド・サスペンション

TDKの高性能磁気ヘッドにより、HDDは長年にわたり記録容量を向上し続けています。今後も、エネルギーアシスト記録方式を取り込んだ新しい磁気ヘッド技術により、HDDのさらなる記録容量の向上に貢献します。



マグネット

先進のフェライトマグネットやネオジウムマグネットに加えて、重希土類フリーマグネットを提供。自動車やインフラ・産業機器の省エネルギー・省資源・高効率化に貢献しています。



エネルギー応用製品

エナジーデバイス

スマートフォンなどの小型機器用の薄型リチウムイオン電池から、太陽光発電などの再生可能エネルギーを蓄える大容量リチウムイオン電池まで、あらゆる“蓄電”に貢献しています。



電源

産業機器向け電源を中心に、AC-DCスイッチング電源や可変電源、DC-DCコンバータ、蓄電池充電用電源などをラインアップ。xEV向けDC-DCコンバータも提供しています。



その他

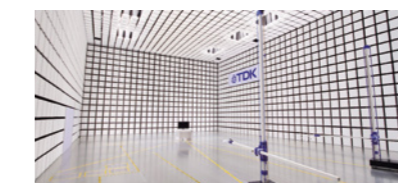
フラッシュメモリ 応用デバイス

独自のメモリ制御ICを搭載した産業用SSDやメモリカードは、FA、ロボット、通信、インフラ、エッジデバイスなどの最適なストレージとして、Society 5.0 (超スマート社会) に貢献しています。



EMC・電波技術

TDKの電波暗室は、世界最高レベルの測定精度、測定効率、信頼性を達成。さらに、ノイズ対策のための高精度なEMC測定システムと合わせたソリューションを提供しています。



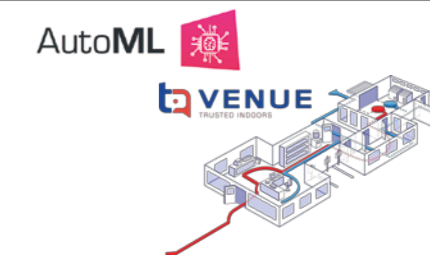
FAシステム

電子部品の製造で培ったメカトロニクス技術を応用展開。各種ウエハサイズに対応したロードポートやフリップチップ実装システムなど、最先端のFA機器を提供しています。



ソフトウェア

AutoMLプラットフォームなどのソフトウェアソリューションは、センサデータを活用して、制約のある環境でも機械学習ソリューションを迅速に構築することを可能にします。また、屋内外での人や資産、自動車の位置情報を継続的に測位できるVENUEやTRACKのソリューションも提供しています。



最先端の電子部品をつくる、5つの力

Process Technology

ナノメートルオーダーをコントロールする「プロセス技術」

材料の特性を最大限に引き出すのがプロセス技術。薄膜技術やスピントロニクスなど、ナノメートルオーダーのコントロール技術により、最先端の電子部品を生み出します。たとえば薄膜技術は、ウエハ上に薄膜を形成して電極、コイル、ヘッド素子などを構築、HDD用ヘッドやセンサ・アクチュエータなどに応用されています。

Materials Technology

89年の歴史とノウハウの結集「材料技術」

材料の特性を原子レベルから追求して、先進ニーズにお応えするのが材料技術。たとえば材料設計では、主原料の配合や微量添加物の制御などにより、必要とする特性を実現します。これらは89年にわたる、膨大な実験や研究で蓄積されたノウハウによってもたらされたものであり、他社の追随を許しません。

Evaluation & Simulation Technology

超微細構造、電子機器のノイズを正確に測定・分析する「評価・シミュレーション技術」

どんなにすぐれた材料・プロセス技術があっても、それを正確に評価する技術やシミュレーションがなければ製品開発は不可能です。TDKの評価・シミュレーション技術は、材料の分析・解析から、製品の構造や熱、電磁界のシミュレーション解析、電波暗室を用いたノイズ測定・対策など幅広く行っています。

Product Design Technology

蓄積されたノウハウと新しいアイデアで製品価値を創造する「製品設計技術」

製品の活用方法を理解し、各種ラインアップされた材料、電子部品を統合して、安心・安全な電子デバイスや最適な組み合わせのモジュールを実現する技術です。電子デバイスやモジュールの特長を活かすソフトウェア設計も重要な技術です。また、持続可能な社会生活に欠かせない電力変換、蓄電、エネルギー制御機能を組み合わせたエネルギーユニットも提供していきます。

Production Engineering Technology

すぐれた装置を自社で製造・開発する「生産技術」

すぐれた製品は、すぐれた製造装置によってつくられます。独自工法の開発とともに、それを具現化するための製造設備を内製してきたことも、TDKのモノづくりの強み。品質・コスト・納期の向上と、材料から製品までの一貫生産の推進により、市場ニーズに応えたサービスを提供します。

5
CORE
TECHNOLOGIES

TDKが社会にインパクトを与えた4大イノベーション

01



フェライトコア

02



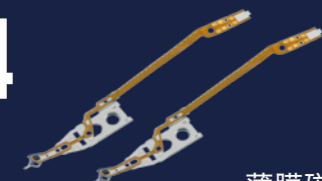
音楽用
カセットテープ

03



積層インダクタ

04



薄膜磁気ヘッド

創業90年のあゆみ

1935

・フェライトコアの事業化を目的とし、東京市芝区(現港区)に東京電気化学工業株式会社を設立

1937

・フェライトコアの量産開始



1951

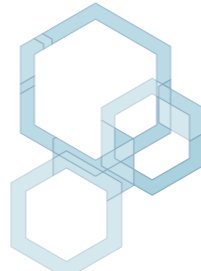
・平沢工場にて並形円筒セラミックコンデンサ生産開始

1959

・ロサンゼルスに海外初の駐在員事務所開設

1961

・株式を東京証券取引所第一部へ上場



1970

1978

・VHS方式「スーパーアビリン・ビデオカセット」発売

1968

・米国で音楽用カセットテープ「SD」発売



1972

・デュッセルドルフに現地法人設立

1966

・国産初の自社ブランドによるシンクロカセットを発売

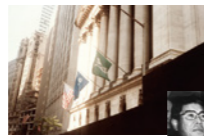
1980

・積層チップインダクタ発売



1982

・ニューヨーク証券取引所に上場



1990

・千葉県市川市にテクニカルセンター完成



1994

・高密度記録AMRヘッド発売



1987

・薄膜磁気ヘッド発売



1986

・香港の磁気ヘッド製造会社SAE Magnetics (H.K.) Ltd.を買収

1983

・社名をTDK株式会社 (TDK Corporation) に変更

2026

・スマートグラス向けフィジカルAIソリューションの提供を目的にTDK Aisightを立ち上げ

2025

・AI/スマートグラス向け技術のリーディングカンパニーであるSoftEye, Incを買収

2024

・エッジAIとセンサフュージョンで先進的な産業機械の最適化を実現するAI新会社TDK SensEI Pte. Ltd.を設立

2023

・TDKの日本国内全製造拠点で再生可能エネルギー由来の電力100%での操業を開始

・自動機械学習プラットフォーム開発を手掛けるQeexo, Coを買収



2022

・ATLとCATLとの業務提携及び合併会社の設立
・国際的な環境イニシアティブ「RE100」に加盟

2020

・グローバルサプライチェーンにおいて企業の社会的責任を推進するイニシアティブ「Responsible Business Alliance」に加盟

2019

・ベンチャー企業への投資を行うTDK Ventures, Inc.を設立



2017

・ASIC (特定用途向け集積回路) の開発を行うICsense NVを買収



・センサメーカー InvenSense, Inc.を買収

2016

・センサメーカー Micronas Semiconductor Holding AGを買収



・米国のHDDヘッド用サスペンションメーカー Hutchinson Technology Inc.を買収

・MEMS慣性センサメーカー Tronics Microsystems SAを買収

2000

・米国の磁気ヘッドメーカー Headway Technologies, Inc.を買収

2005

・リチウムイオン電池製造/販売会社 Amperex Technology Ltd.を買収



・電源製品の専門会社、ラムダを買収



2010

2008

・電子デバイスメーカー EPCOS AGをTOBIにより買収



2007

・TDKブランド記録メディア販売事業を米国の Imation Corp.に譲渡





世界のエレクトロニクスをリードする グローバルネットワーク

EMEA*

- ICsense NV (ベルギー)
- relyon plasma GmbH (ドイツ)
- TDK CROATIA d.o.o. (クロアチア)
- TDK Electronics AG (ドイツ)
- TDK Electronic Components, S.A.U. (スペイン)
- TDK Electronics GmbH & Co OG (オーストリア)
- TDK Electronics s.r.o. (チェコ)
- TDK Europe GmbH (ドイツ)
- TDK Foil Iceland ehf. (アイスランド)
- TDK Foil Italy S.p.A. (イタリア)
- TDK Hungary Components Kft. (ハンガリー)
- TDK-Lambda Ltd. (イスラエル)
- TDK-Lambda UK Ltd. (イギリス)
- TDK-Micronas GmbH (ドイツ)
- TDK Sensors AG & Co. KG (ドイツ)
- Tronics Microsystems SA (フランス)

*EMEA: ヨーロッパ、中東及びアフリカ

Greater China & Other Asia

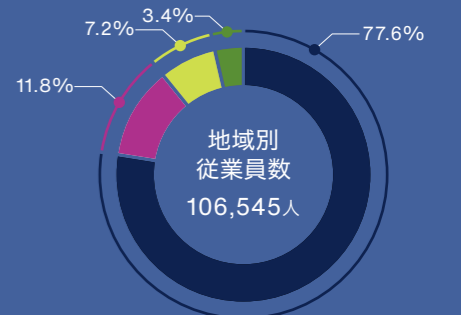
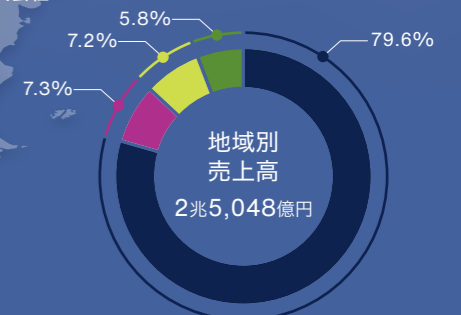
- Acrathon Precision Technologies (HK) Ltd. (香港)
- Amperex Technology Ltd. (香港)
- Amperex Technology (Singapore) Pte Ltd. (シンガポール)
- ATL Battery Technology (India) Private Ltd. (インド)
- Dongguan Amperex Technology Ltd. (東莞)
- Dongguan NVT Technology Co., Ltd. (東莞)
- Guangdong TDK Rising Rare Earth High Technology Material Co., Ltd. (梅州)
- Magnecomp Precision Technology Public Co., Ltd. (タイ)
- Navitasys India Private Ltd. (インド)
- Navitasys Technology Ltd. (香港)
- Ningde Amperex Technology Ltd. (寧徳)
- PT. TDK ELECTRONICS INDONESIA (インドネシア)
- Qingdao TDK Electronics Co., Ltd. (青島)
- SAE Magnetics (H.K.) Ltd. (香港)
- TDK Dalian Corporation (大連)
- TDK Dongguan Technology Co., Ltd. (東莞)
- TDK Electronics (Malaysia) SDN. BHD. (マレーシア)
- TDK Ganzhou Rare Earth New Materials Co., Ltd. (贛州)
- TDK India Private Ltd. (インド)
- TDK Korea Corporation (韓国)
- TDK-Lambda (China) Electronics Co., Ltd. (無錫)
- TDK-Lambda Malaysia Sdn. Bhd. (マレーシア)
- TDK-Lambda Singapore Pte., Ltd. (シンガポール)
- TDK (Malaysia) Sdn. Bhd. (マレーシア)
- TDK Philippines Corporation (フィリピン)

Japan

- 秋田県 TDK株式会社・TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社
にかほ工場北サイト
にかほ工場南サイト
稲倉工場東サイト
稲倉工場西サイト
本荘工場東サイト
本荘工場西サイト
鳥海工場
大内工場
岩城工場
- 岩手県 TDK株式会社・TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社
北上工場
- 山形県 TDK株式会社・TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社
酒田工場
鶴岡東工場
鶴岡西工場
- 新潟県 TDKラムダ株式会社
長岡テクニカルセンター
- 東京都 TDK株式会社
グローバル本社
- 千葉県 TDK株式会社
成田工場
テクニカルセンター

Americas

- Headway Technologies, Inc. (アメリカ)
- Hutchinson Technology Inc. (アメリカ)
- InvenSense, Inc. (アメリカ)
- TDK Components U.S.A., Inc. (アメリカ)
- TDK Electronics do Brasil Ltda. (ブラジル)
- TDK-Lambda Americas Inc. (アメリカ)
- TDK RF Solutions Inc. (アメリカ)
- TDK U.S.A. Corporation (アメリカ)
- Trusted Positioning Inc. (カナダ)



● アジア地域 (除く日本) ● ヨーロッパ
● 日本 ● 米国
(2026年3月31日現在)